

## 防災・安全安心分野 政策2 「安全安心な暮らしの確保」

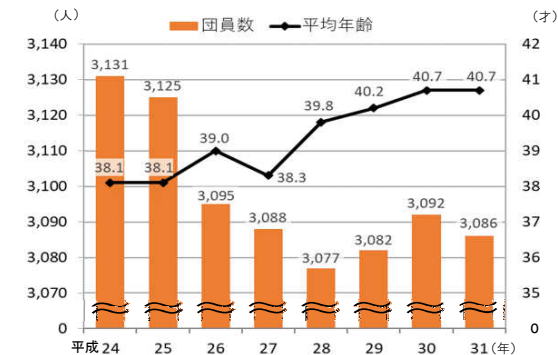
## 目指す姿 1

火災や事故など日常に潜む災害による被害が軽減している。

## 【現状と課題】

- 本市は山岳や河川、海、島しょなどの多様な自然環境や、姫路城をはじめとする多彩な文化財を有し、臨海部には石油コンビナート等特別防災区域もあることから、これらの特性に応じた消防・救急車両、職員を配置しています。
- 高齢化の進行等に伴う救急出場件数の増加により、救急活動時間が伸びる中、119番通報の中には緊急に病院を受診する必要のないものや単なる問い合わせといった不要不急の通報も見られます。
- 災害時における即時対応や地域防災の中核的な役割を担う消防団は、地域防災力の要となっていますが、少子高齢化やライフスタイルの変化等を背景に、青年層の団員が不足しています。

※関連データ：消防団の状況



※消防団員定員 3,226 人

(資料) 消防年報、姫路市統計情報より作成

【目指す姿を実現するための方向性】

|    |   |
|----|---|
| 人  | <p><b>ア 日常に潜む災害に対する市民意識等の向上</b></p> <p>火災を未然に防ぐとともに日常に潜む災害に伴う被害を最小限に抑えるため、市民や企業等への防火意識の普及啓発や、家庭や職場でできる応急手当の知識の普及などを通じて、日常に潜む災害に対する市民意識等の向上を図ります。</p>  |
| 地域 | <p><b>イ 地域防災体制の強化</b></p> <p>地域の実情に応じて、消防団員の確保を促進するとともに、団員が活動しやすい環境を整備することで、火災や風水害など様々な災害に対する地域の防災体制の強化を図ります。</p>   |
| 活力 | <p><b>ウ 迅速かつ的確な救急搬送の実現</b></p> <p>救急患者の搬送と受け入れのさらなる円滑化のため、救急隊と医療機関が患者の情報や受入可否などをリアルタイムで共有することができる救急搬送支援システムの構築や、医師会や兵庫県等関係機関との連携を進め、迅速かつ的確な救急搬送の実現を図ります。</p>  |
| 土台 | <p><b>エ 消防救急救助活動体制の充実</b></p> <p>市内各地域の多様な消防・救急・救助ニーズに的確に対応できるよう、隊員や消防車両、資器材等を充実させるとともに、消防活動等の拠点となる消防署等の整備や配置の見直しを進めます。</p> <p><b>オ 安全・保安体制の強化</b></p> <p>危険物施設を管理する事業者等への指導・検査により安全管理や保安体制を強化し、事故要因の排除を図ります。</p> |



消防出初式



救急救命講習会

## 目指す姿 2

市民が身近な生活において安全や安心を実感している。

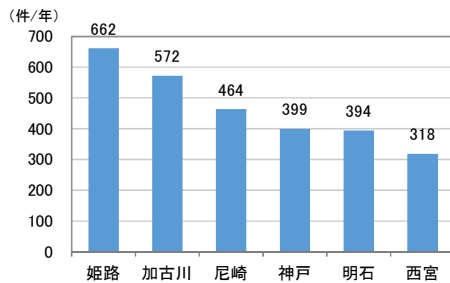
## 【現状と課題】

- 市内の刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、住んでいる地域で犯罪に遭遇する危険性など、身近な治安に不安を感じている人は依然として多い状況です。
- 市内の交通事故（人身事故）発生件数は減少しているものの、人口 10 万人当たりの交通事故発生件数は県内他市に比べて高い状況です。
- インターネットの利用環境が充実し、消費生活における利便性が向上する一方で、インターネット利用に伴う架空請求や、詐欺、悪質な訪問販売など消費者トラブルの手口は巧妙化・複雑化しています。また、本市の消費生活相談の新規相談件数は毎年 4,000 件前後で推移していますが、相談全体に占める高齢者の割合は増加しています。

## ※関連データ：交通事故（人身事故）発生件数

| 姫路市      | 平成22年 | 平成24年 | 平成26年 | 平成28年 | 平成30年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 交通事故発生件数 | 5,008 | 4,646 | 4,034 | 3,788 | 3,558 |

## 県内管轄別交通事故発生件数（人口 10 万人当たり）



（資料）姫路警察署 2018 年事故発生件数資料より作成

## 【目指す姿を実現するための方向性】

- 人 地 域**
- カ 安全・安心に対する市民意識の高揚**  
防犯や交通安全において、警察や防犯協会、交通安全協会などと連携して、子どもから高齢者までそれぞれにあった教育と広報啓発に取り組むことにより、市民の安全・安心に対する意識の高揚を図ります。
- キ 地域の防犯・安全環境づくりの推進**  
○ 街頭犯罪等の身近に潜む犯罪や事故を防ぐため、地域住民、警察等と連携して見守り活動を促進するとともに、防犯カメラや防犯灯の設置を支援するなど、地域の防犯・安全環境づくりに取り組みます。  
○ 罪を犯した人が地域で孤立せず、円滑な社会復帰ができるよう、更生支援や再犯防止対策を進めます。
- ク 暮らしのトラブルから市民を守る環境づくり**  
○ 消費者トラブルによる被害を未然に防止するため、教育機関や警察等と連携して消費者教育や広報啓発に取り組みます。  
○ 市民が安心して相談できるよう、消費生活センターや市民相談センターなどの相談機能を充実させます。  
○ 犯罪被害者やその家族が再び平穏な生活を送ることができるよう、関係機関と連携して相談体制の充実を図るとともに、救済支援を進めます。
- 土 台**

## 市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

- 市 民**
- 火災予防や応急手当のほか、防犯・交通安全に関する知識の習得に努めましょう。
  - 消費者被害を未然に防ぐためにも、消費に関する正しい情報を見極めてトラブルから自らを守る意識を高めましょう。
- 地域コミュニティ**
- 地域ぐるみで、防火意識の普及啓発や防犯・交通安全活動に取り組まましょう。
- 企業・団体**
- 防火対象物や危険物施設に関する法令を遵守するほか、市や関係機関と連携し、安心安全なまちづくりに取り組みましょう。